

災害時多言語音声情報作成ツール活用について

はじめに・FMわいわいとは・

阪神・淡路大震災の直後に被災した外国人に母語で災害情報を提供していくことを目的に設立されたミニFM局が発展し、1996年1月に開局した国内初の多文化・多言語コミュニティ放送局です。多文化共生のまちづくりをめざし、NPOセンター「たかとりコミュニティセンター」に拠点を置き、100名以上の、外国にルーツを持つなど多様な文化背景の地域住民が11言語で放送している。

現在、同じように活動を続けてきた28言語対応の翻訳・通訳コーディネートの「多言語センターFACIL」とのグループ化をはかり「多文化 Pro³」(プロキューブ)グループとして多言語/多文化コンテンツの制作集団となる。

主な災害救援活動歴 (FMわいわい / 多言語センターFACIL)

阪神・淡路大震災

被災外国人：約 80,000 人 このうち日本語が不自由だったのは約 30,000 人

情報提供方法：ラジオと翻訳したニュースレター

ラジオ：既存の放送局での多言語による情報提供はほんの一部

無認可でミニFM局を設立(地震発生後の13日後)

受信ラジオ：救援物資として配布

放送言語：韓国・朝鮮語、ベトナム語、スペイン語、英語、日本語

放送時間：外国語専門のミニFM局のため言語別に午前7時から深夜零時まで

放送主体：外国人の民族団体と外国人支援グループ

新潟県中越地震

被災外国人：約 2,000 人

情報提供方法：災害情報を翻訳、音声化して現地のラジオ局に提供

ラジオ：コミュニティ放送局FMながおか、十日町市の災害臨時FM局

* FMながおか：地震以前は日本語の放送のみ

受信ラジオ：救援物資として配布

音声提供言語：英語、中国語、ポルトガル語、韓国・朝鮮語、タガログ語、やさしい日本語

放送時間：基本的に日本語主体のラジオ局なので一日のプログラムの一部の時間

放送主体：長岡市国際交流センター(FMながおか)、十日町市役所

* 参考：<http://www.tcc117.org/fmyy/nagaoka/>

新潟県中越沖地震

被災外国人：約 900 人

情報提供方法：地震発生翌日より柏崎災害多言語支援センターが設立されて災害情報原稿を作成、複数の協力団体のひとつとして、それをFACILが翻訳して提供

ラジオ：コミュニティ放送局FMピッカラで、多言語情報提供

放送主体：FMピッカラ(臨時災害放送局をピッカラの中継局として申請)

* 参考：<http://www.week.co.jp/blog/070716/archives/001074.html>

(新潟県中越沖地震特設サイト)

ラジオ等での災害時多言語情報提供について

災害情報をラジオ（音声）で提供する意義

- 1．車や携帯ラジオなど災害時でも広範なエリアで聴取が容易な環境
- 2．母語を聴くことによる癒しの力、安心感
- 3．公共的な存在であるラジオの持つ安心感
- 4．文字が読めない人への情報提供手段
- 5．日本人に対しての外国人被災者の理解

災害情報をラジオ（音声）だけに頼ると、

- 1．音声情報だけでは詳細な内容がわからない 他メディアと必ず組み合わせる

災害時多言語情報提供ツールの概要

ツールの特徴

阪神・淡路大震災、新潟県中越地震における被災外国人への情報提供活動の実績をもとに、主に地震と津波の際に災害発生直後から主に **72 時間内** に提供すべき情報を選んでいきます。翻訳、音声化には、阪神・淡路大震災で被災経験のある在日外国人スタッフや日頃、コミュニティ放送局でアナウンスをしている外国人スタッフが当たりました。ツールの操作は、ホームページを閲覧するのと同じように、簡単に6言語の音声素材をデータとして得られ、素材の加工も可能です。

音声素材の再生・ダウンロード

災害時の情報提供に役立つ **145 の短い文** を6言語に音声化した素材（MP3）を、災害時の状況に応じてメニュー方式で選択し、再生およびダウンロードができます。

音声素材の加工

Windows Media Player や iTunes などのマルチメディア再生ソフトを使用して、ダウンロードした複数の音声素材を組み合わせ、一つの情報として扱うことができます。さらに、作成した音声情報を CD-R に書き込んで CD プレーヤーで再生することもできます。

* Windows Media Player：WindowsXP に標準装備されています。

* iTunes：次のサイトから無料でダウンロードできます。

* <http://www.apple.com/jp/itunes/download/>

音声情報の提供の際の注意点

- 1．情報毎に言語を変えて音声再生するのではなく、言語別に一定量の情報を再生してください
- 2．同じ情報を繰り返し再生してください。

ツールの活用方法

災害時に想定される状況に応じて **予め音声素材を組み合わせ** て“放送データ”を作成してください。またツールにある情報ですべてカバーできるわけではありません。各地域の実情にあわせて多言語音声素材を作成し、独自の“放送データ”を作成しておくことをお勧めします。さらに、防災目的で放送するデータとしても活用していただくこともできます。

音声情報の展開先

コミュニティ放送、避難所などの構内放送、防災無線など

おわりに ・過去の災害救援活動の経験から・

例えばコミュニティ放送局がある自治体では、災害時だけでなく日常的に多言語放送するなど、日頃から在住外国人が聴くメディアづくりを心がけていくことなくして、このツールの災害時使用しても思ったほどの効果はあがりません。防災訓練で多言語情報提供を行うなど、できるところからはじめてください。

株式会社エフエムわいわい

〒653-0052 神戸市長田区海運町 3-3-8 たかとりコミュニティセンター内

TEL 078-737-3196 FAX 078-737-3187

URL : <http://www.tcc117.org/fmyy/> E-Mail : fmyy@tcc117.org